



# 2013年度 決算説明会

2014年 5月 26日

日本軽金属ホールディングス株式会社

# 目次



1. 2013年度 連結決算の概要
2. 中期経営計画の進捗
3. 2014年度 連結業績予想

# 目次



1. 2013年度 連結決算の概要
2. 中期経営計画の進捗
3. 2014年度 連結業績予想

## 2013年度決算 — 前期比



(億円)

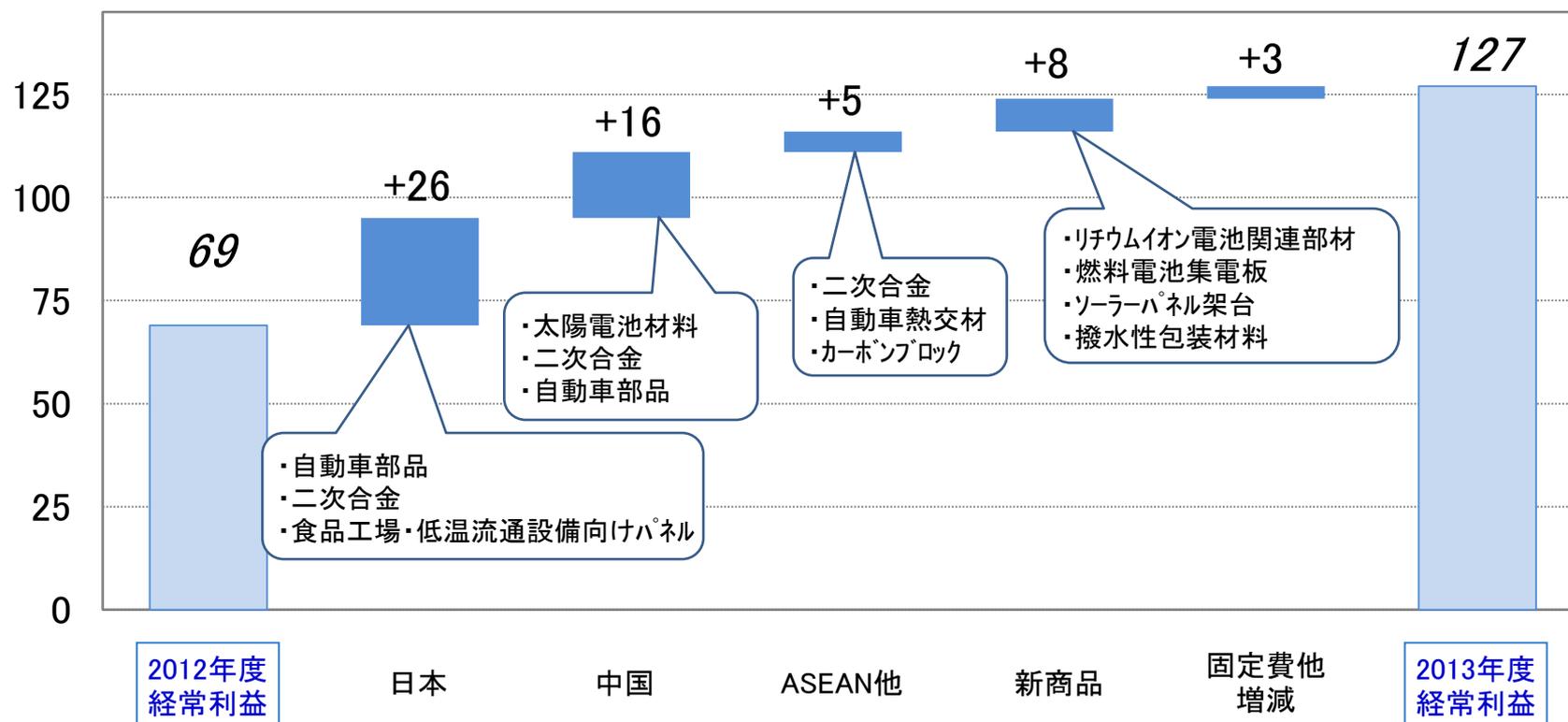
	2013年度 実績	2012年度 実績	増減
売上高	4,028	3,719	+309 (+8.3%)
営業利益	126	82	+44 (+54.7%)
経常利益	127	69	+58 (+85.2%)
当期純利益	51	34	+17 (+52.8%)
有利子負債	1,987	1,888	+99
ネットDEレシオ	1.4倍	1.5倍	—
R O C E	5.8%	3.7%	+2.1p

# 経常利益変化要因 - 前期比



2012年度 +69億円 ⇒ 2013年度 +127億円 58億円増加

(億円)



## セグメント情報 — 前期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年度 実績	2012年度 実績	増減	2013年度 実績	2012年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,055	939	+116 (+12.3%)	29	33	△4 (△10.9%)
板、押出製品	713	632	+81 (+12.8%)	27	17	+10 (+59.3%)
加工製品、 関連事業	1,322	1,262	+60 (+4.8%)	72	70	+2 (+3.6%)
箔、粉末製品	938	886	+52 (+5.9%)	29	△8	+37 (-)
管理・共通	—	—	—	△31	△30	△1
合 計	4,028	3,719	+309 (+8.3%)	126	82	+44 (+54.7%)

## 主要会社の業績 — 前期比



(億円)

	2013年度 実績			2012年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,236	△36	△13	1,137	△19	16
東洋アルミニウム (連結)	943	28	27	893	△7	△7
日軽エムシーアルミ (連結)	533	15	12	457	5	5
日本フルハーフ (連結)	533	25	25	506	29	28
日軽金アクト	350	15	16	299	14	14

# 目次



1. 2013年度 連結決算の概要
- 2. 中期経営計画の進捗**
3. 2014年度 連結業績予想

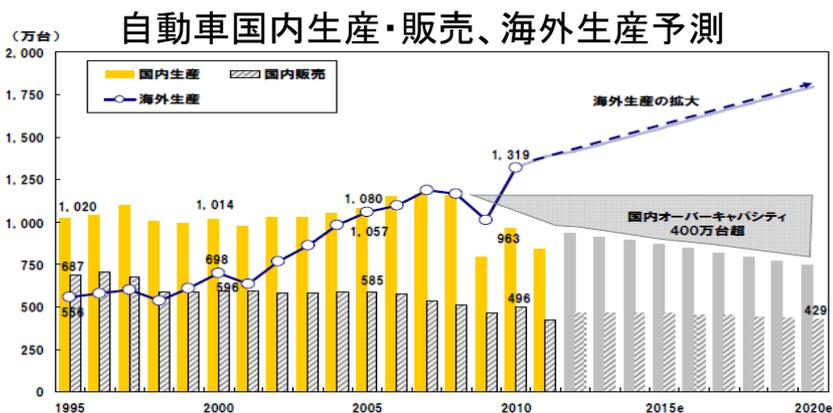
- ① 地域別 × 分野別戦略による事業展開
- ② 新商品・新ビジネス  
による成長ドライバー創出
- ③ 企業体質強化



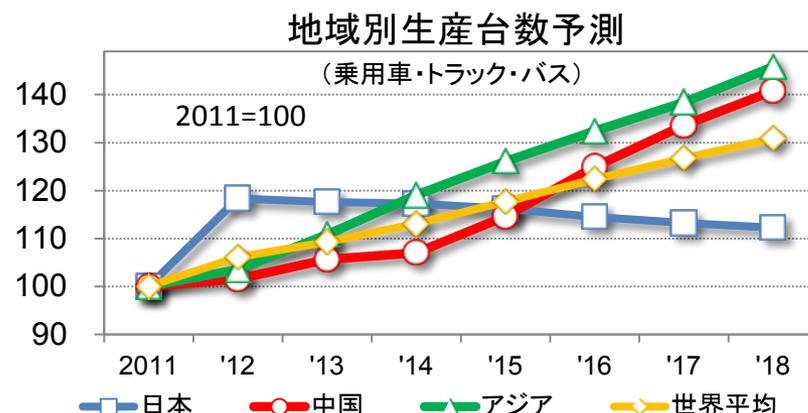
# 自動車・輸送 × グローバル



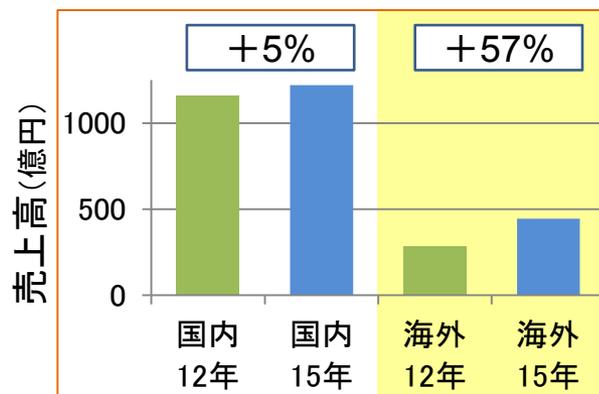
	日本	中国	ASEAN	その他(北米)
市場の成長性	➡	↗	↗	
基本戦略【自動車】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファクトリー化推進</li> <li>・現地化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米系メーカーの取込み</li> <li>・タイ拠点との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ拠点競争力強化</li> <li>・中国拠点との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北米需要の取込み</li> <li>・メキシコ拠点稼働</li> </ul>
基本戦略【輸送】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス展開</li> <li>・生産性、品質向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売力強化</li> <li>・次世代商品開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ拠点新規展開</li> </ul>	



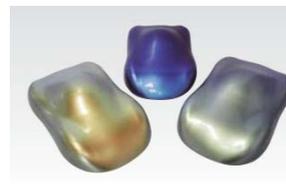
<出所: みずほ銀行産業調査部>



# 自動車・輸送 × グローバル



<PFダイカスト>  
LEDヘッドライト用  
ヒートシンク



<着色アルミ顔料>  
クロマシャイン



<押出型材加工>  
サイドステップ

エリア	部門・会社	主な事業展開・商品
国内	日本軽金属(メタル合金)	自動車用アルミ電線
国内	日本フルハーフ	サービス事業強化
国内	日軽松尾	高機能PFダイカスト(無孔性ダイカスト)
国内	東洋アルミニウム	着色アルミ顔料(クロマシャイン)
中国	日軽金アクト	日軽上海での押出型材加工事業の増強
中国	日軽金アクト	日軽丛林でのABS・ブラケット立上げ
ASEAN	日本フルハーフ	タイでのトラック架装事業展開
ASEAN	日軽金アクト	タイでの押出型材加工事業の検討
ASEAN	日軽エムシーアルミ	二次合金タイ第2工場建設検討
ASEAN	ニッケイ・サイアム(板)	自動車用熱交材
その他	日軽エムシーアルミ	インドJV、メキシコJV事業開始

# タイにおけるトラック架装事業の展開



## 日本フルハーフが現地架装メーカーに資本参加

### タイ市場

- ・ 冷凍食品はじめ食品製造業が急成長
  - ・ 周辺4カ国※との物流量増加
- ⇒ **トラック需要、高品質輸送ニーズの高まり**

※ カンボジア、ラオス、ミャンマー、マレーシアとの東西南北回廊



ウイング車



大型バントラック

冷凍車製造技術でタイ国内トップクラスの  
Mahajak Coldchain Co., Ltd. に資本参加

- フルハーフが得意とするアルミ製バン車体の開発・製造技術を投入
  - 1トン・ピックアップトラックから大型トラックまで、幅広い製品を提供
- ⇒ **ASEAN地域の高品質輸送に貢献**



テールゲートリフター

### 進出形態

2014年5月 Mahajak Coldchain Co., Ltd. 株式の70%を取得で合意  
 2014年7月 社名を **Fruehauf Mahajak Co., Ltd.** に変更、新体制スタート(予定)  
 販売目標: 7億パーツ(2017年)

### Fruehauf Mahajak Co., Ltd. について

資本金: 2億パーツ 日本フルハーフ 70%  
 Mahajak グループ 30%  
 製造品目: 各種自動車用車体、各種コンテナほか

### Mahajak グループについて

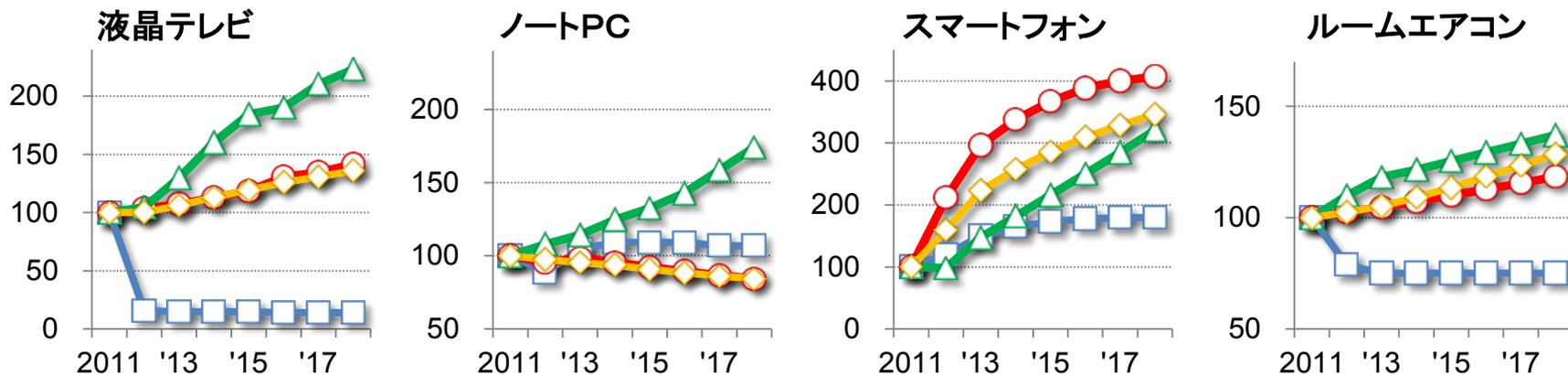
- ・ 電機製品、空調機、自動車部品をはじめ、様々な工業製品を扱う。
- ・ 日本メーカーとの合弁も数社

# 電機・電子 × グローバル

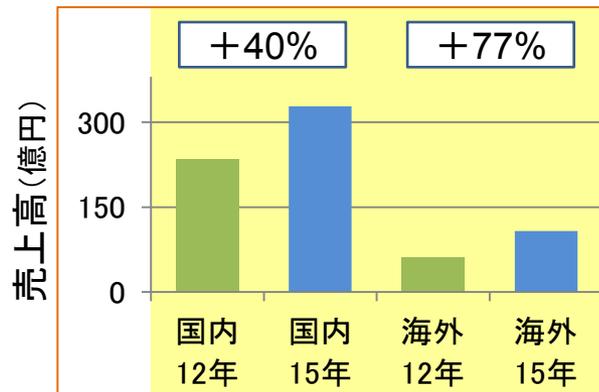


	日本	中国	ASEAN	その他
市場の成長性	➡	↗	↗	↗
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ連携による研究開発強化</li> <li>・現地化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東陽理化学中国拠点とのコラボレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ拠点競争力強化</li> <li>・ニーズに即応できる生産体制構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サファイア用高純度アルミナの拡販</li> </ul>

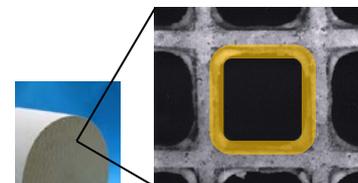
地域別生産台数予測 (2011=100)



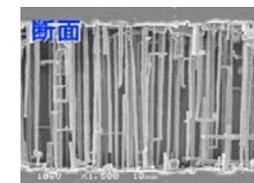
# 電機・電子 × グローバル



＜高純度アルミナ＞  
LEDサファイア基板



＜遷移アルミナ＞  
触媒担体



＜トールパス＞  
リチウムイオン  
キャパシタ正極材

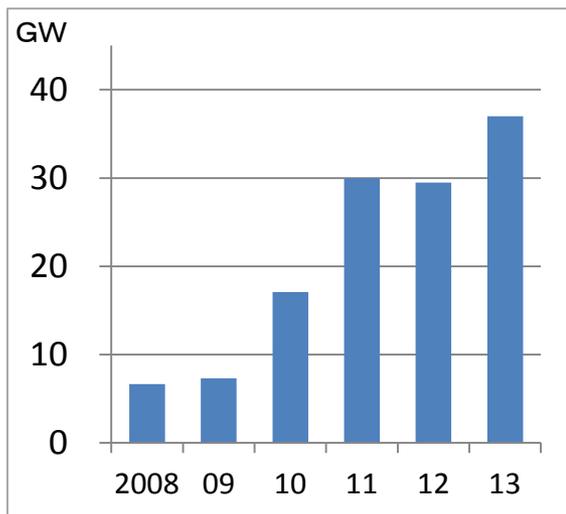
エリア	部門・会社	主な事業展開・商品
国内	東洋アルミニウム	粉末積層箔、トールパス(貫通孔箔)
国内	日本軽金属(メタル合金)	高導電率耐熱電線
国内	日本軽金属(電極箔)	アルミ電解コンデンサー
国内	日軽金アクト	液冷ジャケット、プリンタ用高精度ドラム
ASEAN	ニッケイ・サイアム(熱交)	ルームエアコン用熱交換器
その他	日本軽金属(化成品)	LEDサファイア基板用高純度アルミナ

# 環境・安全・エネルギー × グローバル



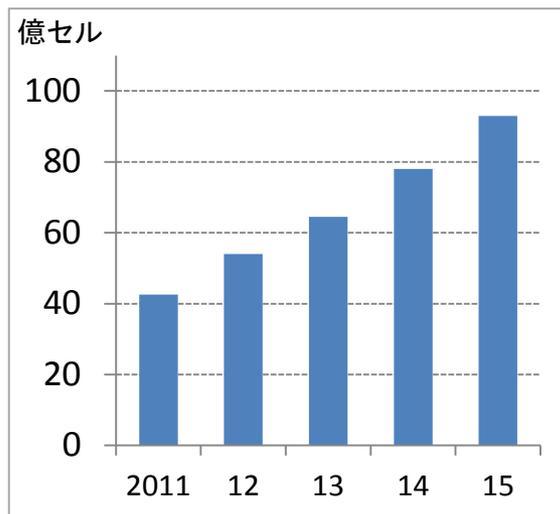
	日本	中国	ASEAN	その他
市場の成長性				
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ連携による太陽光発電需要獲得</li> <li>・LiB関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産拠点、組織再編(集中・特化)で収益性改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MAXUS、MAXUS-W 物件獲得</li> </ul>

太陽電池 各年新規設置推移



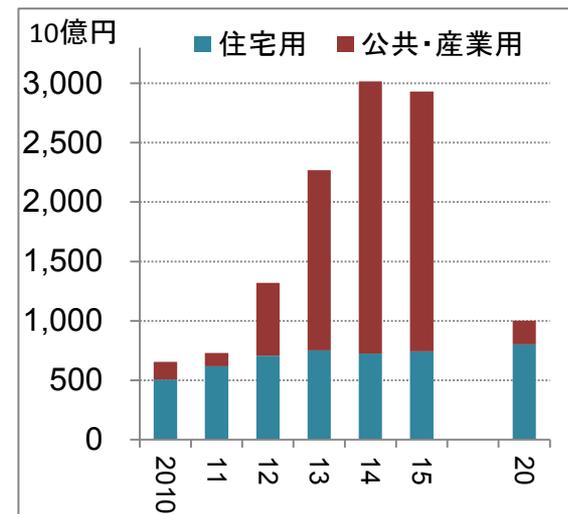
<出所: EPIA>

リチウムイオン電池世界市場



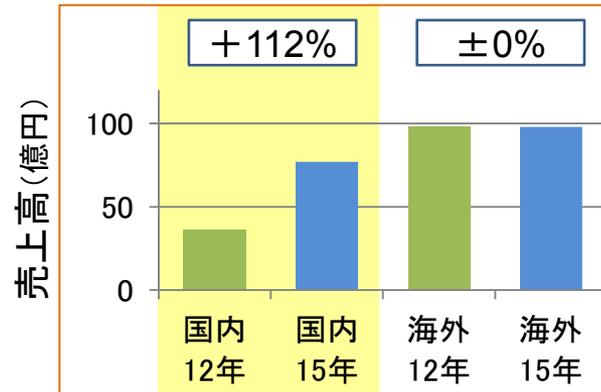
<出所: 日本エコノミックセンター>

国内太陽光発電システム市場



<出所: ITメディア社>

# 環境・安全・エネルギー × グローバル



Li 電池外装用箔



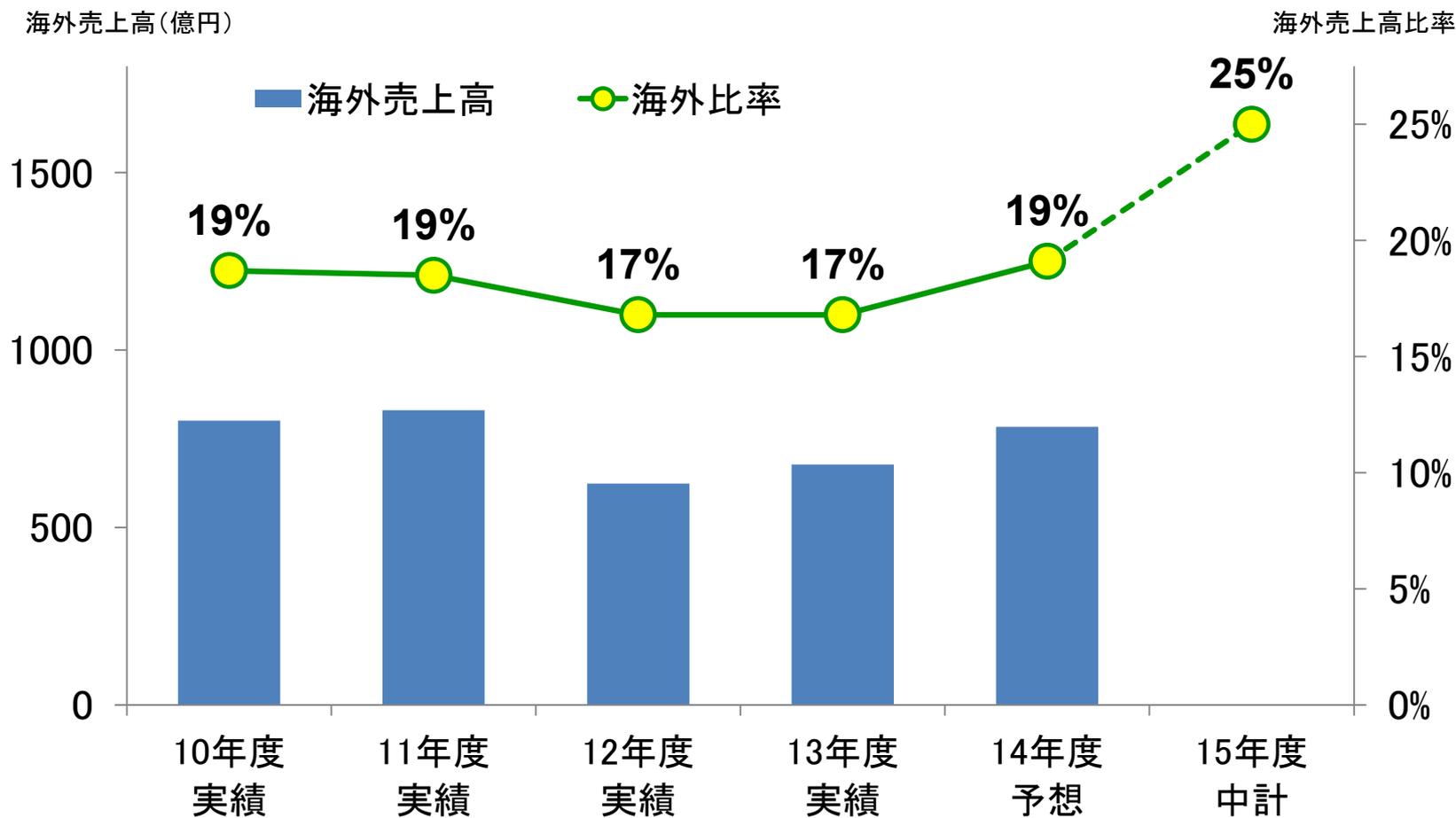
バックシート



波返し

エリア	部門・会社	主な事業展開・商品
国内	日軽金アクト他	アルソル、アルソルメガ
国内	日軽金アクト	MAXUS、MAXUS-W
国内	日本軽金属(化成品)	LiB部材用アルミナ
国内	日軽金(板)、日軽金アクト	LiB角容器
国内	日本電極	LiB負極材
国内	東洋アルミニウム	LiB正極材、外装用箔
国内	NLMエカル	防災倉庫、携帯電話中継局舎
国内	住軽日軽エンジニアリング	耐震補強、波返し
中国	東洋アルミニウム	太陽電池用バックシート、電極インキ

# 海外売上高

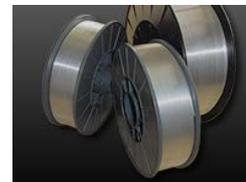


# 主な新商品 (1)



## 自動車・輸送

日本軽金属	自動車用アルミ電線
	カーエアコン用スクロール
日本フルハーフ	オールアルミトレーラー



アルミ電線



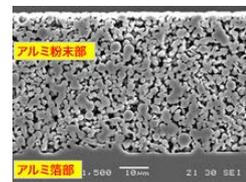
スクロール



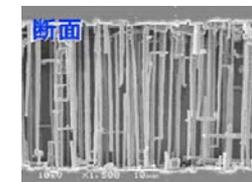
オールアルミトレーラー

## 電機・電子

東洋アルミニウム	粉末積層箔
	トーヤルパス(貫通孔箔)



粉末積層箔



トーヤルパス

## 情報・通信

日本軽金属	液冷システム
日本フルハーフ	コンテナデータセンター



液冷システム



コンテナデータセンター

# 主な新商品 (2)



## 食品・健康・日用品

東洋アルミニウム	撥水性蓋材(トータルロータス)
	IH用アルミ箔容器
	紙容器
日軽金アクト	業務用ビールサーバーシステム



トータルロータス



IH用アルミ容器



ビールサーバー

## 環境・安全・エネルギー

日本軽金属	LiB部材用アルミナ
日本電極	LiB負極材
日軽金アクト他	ソーラー架台(アルソルメガ)
NLMエカル	PCSパッケージ
日軽パネルシステム	耐震型システム天井
住軽日軽エンジニアリング	防水シェルター



アルソルメガ



PCSパッケージ



システム天井



## その他

日本軽金属	特級次亜塩素酸ソーダ
-------	------------

# 課題への取り組み



## 体制が整い収益改善が始まる

ソーラー事業 (東洋アルミニウム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産・販売拠点の中国移転を完了</li> <li>拡販とコストダウンを実践</li> </ul>
板事業 (日本軽金属)	<ul style="list-style-type: none"> <li>三極(日泰中)によるグローバルサプライ体制を確立</li> <li>加工展開による高付加価値製品の拡販</li> </ul>

## 収益改善に向け体制強化

アルミナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存品増販 市場動向を見据えた商材別の販売戦略</li> <li>新製品の上市 中長期を見据えた新製品の開発</li> </ul>
海外新拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規拠点の黒字化と収益力強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>中国長春: アクト</li> <li>中国龍口: アクト、フルハーフ</li> <li>タイ: 熱交、パネル</li> </ul> </li> </ul>

# ソーラー事業 基本戦略とアクションプラン



## ①中国への生産・販売の集約

・2013年12月末迄に完了

## ②安価な材料の調達

・中国ほか、海外材への転換

## ③在庫管理の徹底

・不良在庫処分

## ④品質・性能の向上と技術開発

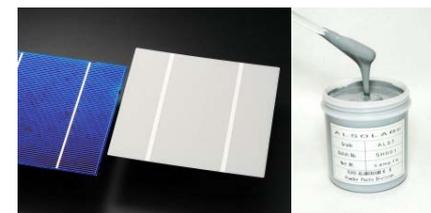
・改良技術と製品開発の具体化

## ⑤販売の再構築

・販売ルートの再検討、直取引の検討



バックシート



電極インキ <アルソーラー>

# 板事業 基本戦略とアクションプラン



## ① 三極体制による海外展開

⇒タイ・中国の生産力と日本の技術力を融合、中国・ASEANを中心とする拡大路線

- ・熱交材： 長期契約によるグローバル顧客への拡販
- ・非熱交材： 華峰日軽の脱熱交材を目指し、自動車・輸送、電機、建材向けなどを拡販

## ② 加工品展開

⇒東陽理化学研究所と連携し、加工分野への展開を推進。

- ・東陽理化との連携： 輸送機器、電気機器向け製品などを開発、販売
- ・加工製品等： 電池筐体・集電板(新規・次モデル開発)、水冷製品、紫外線ビジネス

## ③ 国内素材事業の差別化

- ・厚板： 国内マーケットの収益確保。高精度海外マーケット取り込み  
海外向け鉄道物件の受注、焼入材の拡販
- ・電機・電子： LiB関連材料(ケース、蓋、筐体)などの差別化
- ・建材・一般材： 新規分野開拓(カラーアルミ、インフラ関連等)
- ・自動車・輸送： 熱交材三極スキーム確立とパネル向けFC(フレックスキャスター)材拡販
- ・機能材： 電池容器箔の薄肉化、高品質化

# アルミナ



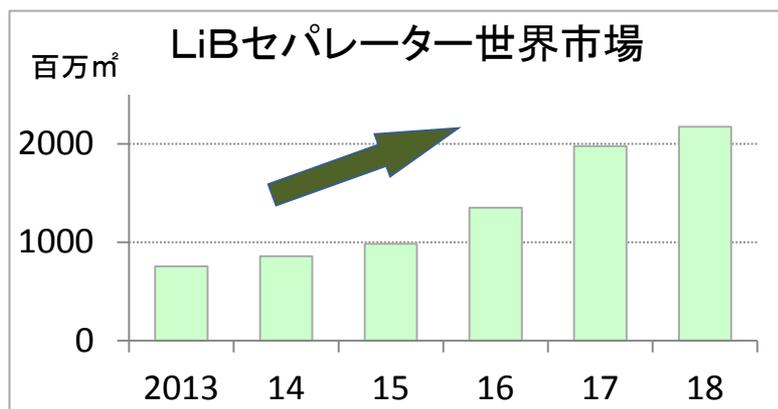
## 新商品

### ■ 低ソーダアルミナ

- ⇒ LiB部材用アルミナで、価格、性能など、顧客ニーズに合わせ品揃を充実。
- ⇒ 高純度アルミナ、遷移アルミナに加え、低ソーダアルミナを開発。

市場動向： 自動車向けは薄肉化、低価格化進行中

開発対応： 高純度化、金属異物低減



## 既存品

### 高付加価値品

#### ■ 放熱フィラー用

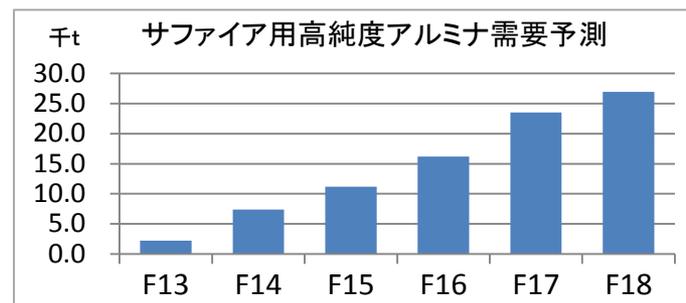
- ・LED基板向け需要回復基調
- ・熱伝導率向上とコスト削減

#### ■ LiB部材用

- ・LiBは各分野で需要増加見込み

#### ■ サファイア用

- ・LED向けの需要回復
  - ・携帯端末部材向けが増加
- 端末メーカーがカバーガラス用に採用を検討



# 長春日軽(日軽金アクト)



## 長春日軽軌道客車装備有限公司

設立: 2012年10月  
(日軽金アクト出資比率 50%)

事業内容: 鉄道車両向け部品

経常利益 (●:黒字、●:赤字)



## 概況

- 13年は、中国鉄道部再編の影響による整備計画遅れ  
⇒ 販売数量未達で赤字
- 14年以降は、地方都市向け車両の需要が増加  
⇒ 地下鉄車両向け部品を受注済み



深圳市地下鉄車両

## 今後のアクション

- 生産能力向上、品質向上の為、接合スピードをアップ
- FSWの競合先に対抗する為、3次元接合・異種合金接合といった新技術を導入



FSW(摩擦攪拌接合)

# 山東日軽丛林汽車(日軽金アクト)



## 山東日軽丛林汽車零部件有限公司

設立: 2012年3月  
(日軽金アクト出資比率 55%)

事業内容: 自動車部品、トラック部品  
丛林福祿好富向けトレーラ部材

経常利益 (●:黒字、●:赤字)



## 概況

- 13年は、タイの自動車優遇策打ち切りにより上期は需要が急減。下期は、ABSなどが順調に数量を伸す



ABS

## 今後のアクション

- 14年はABS、ブラケットの本格化により、増販を見込む
- 素材供給元である丛林アルミと連携し、鑄造・押出の品質レベルを向上させ、コストダウンを実現する
- ABS、ブラケットに次いで、収益基盤となるアイテムを取り込む。(6000系・7000系バンパー等)



ブラケット



バンパー

# 山東丛林福祿好富(日本フルハーフ)



## 山東丛林福祿好富汽車有限公司

設立: 2011年11月  
(日軽金グループ出資比率 50%)

事業内容: トレーラ、トラックバンの製造

経常利益 (●:黒字、●:赤字)



## 概況・市場動向・展望

- 車両軽量化ニーズは高まっているものの、市場で受け入れられる価格になっていない
- 食の安全性、生鮮食品の需要増加  
⇒ 温管車ニーズ
- 荷役作業の変化(労務費上昇、フォークリフト増加)  
⇒ ウイング車増加



冷凍トレーラ

## 今後のアクション

- 販売人員増強、代理店数増加などにより販売量確保
- 次世代商品(軽量アルミトレーラ)開発



ウイングトレーラ

# サイアム・熱交(日本軽金属)



## ニッケイ・サイアム — 熱交

操業開始: 2011年10月  
(日軽金グループ出資比率 100%)

事業内容: ルームエアコン用コンデンサ

経常利益 (●:黒字、●:赤字)



## 市場動向・展望

- 新興国においてルームエアコン市場が拡大
- 日系メーカーは100%海外生産(東南アジア、中国、インド)
- アルミ製熱交換器への代替の動きは継続
  - 軽量コンデンサのニーズ高まる
  - 銅とアルミの価格差
  - 省エネ規制、環境規制の強化



## 今後のアクション

- 高性能仕様で、省エネ規制強化時の対策
- 現地仕様によるシェア拡大

# サイアム・パネルシステム(日軽パネル)



## ニッケイ・サイアム — パネルシステム

操業開始: 2012年7月

(日軽金グループ出資比率 100%)

事業内容: 冷蔵庫・冷凍庫用断熱パネル  
クリーンルーム用内装パネル

経常利益 (●:黒字、●:赤字)

2012  
実績

2013  
実績

2014  
予想

2015  
予想

## 市場動向・展望

### ◇タイ

➤ コンビニ店舗数拡大傾向。食品関連も日系中心に増加

### ◇ベトナム

➤ ショッピングモールや外資系コンビニの出店計画が急増

## 今後のアクション

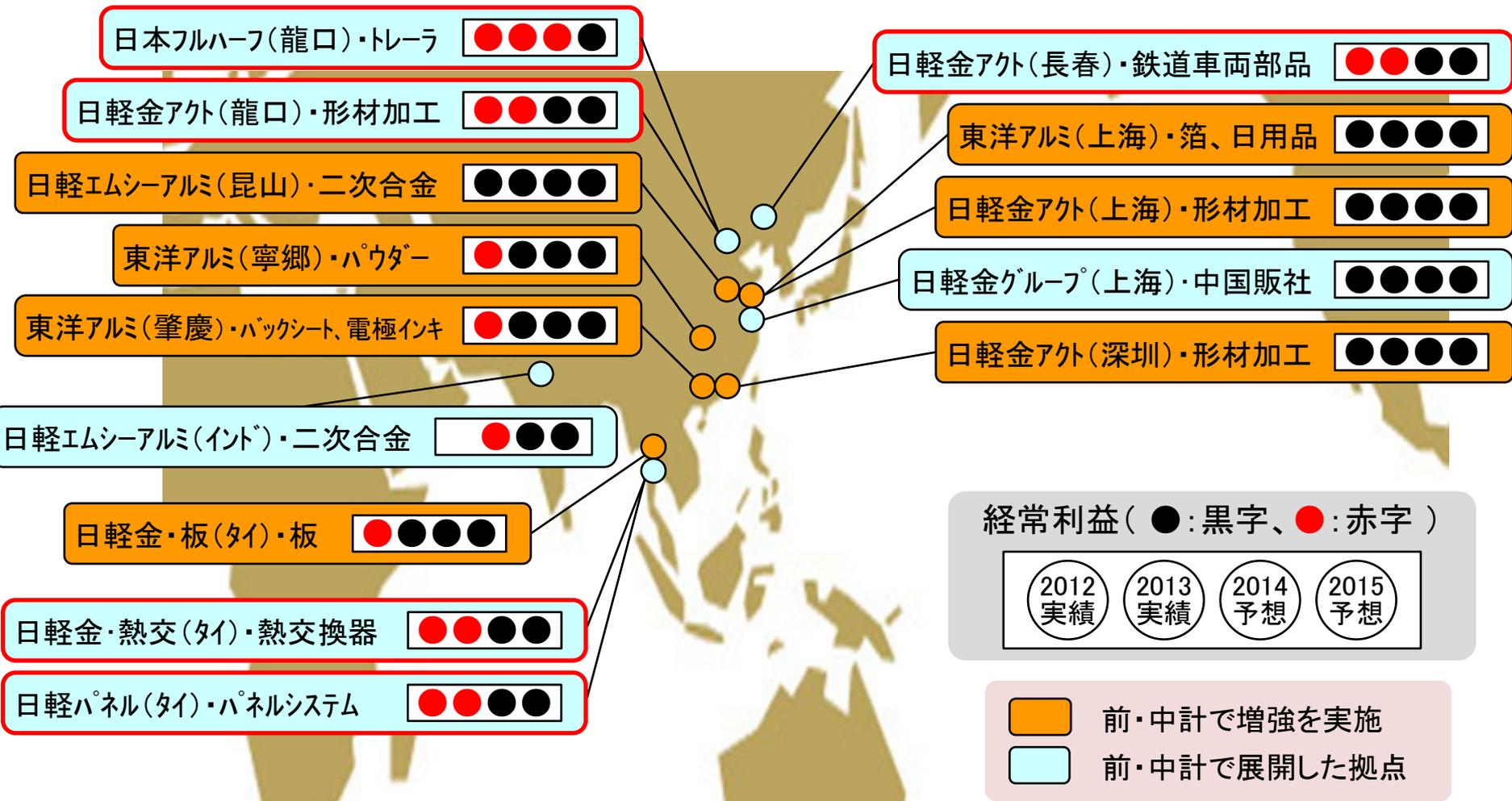
➤ 販売力強化とローカルマーケットへの参入

➤ 新規商品投入・・・外壁パネル、コンビニ用簡易パネル





# 海外拠点の収益力



# 目次



1. 2013年度 連結決算の概要
2. 中期経営計画の進捗
3. 2014年度 連結業績予想

## 通期業績予想 — 前期比

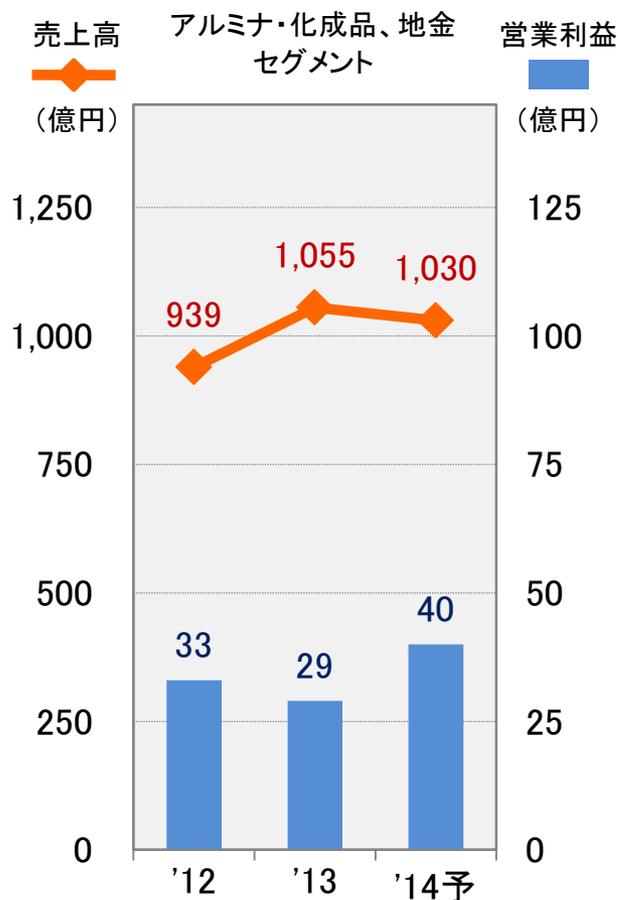


(億円)

	2014年度 予想	2013年度 実績	増減
売上高	4,100	4,028	+72 (+1.8%)
営業利益	170	126	+44 (+34.7%)
経常利益	150	127	+23 (+17.8%)
当期純利益	100	51	+49 (+95.0%)
有利子負債	1,830	1,987	△157
ネットDレシオ	1.3倍	1.4倍	—
R O C E	6.3%	5.8%	+0.5p

予算前提 地金市況: 240円/kg、為替: 100円/US\$

# アルミナ・化成品、地金

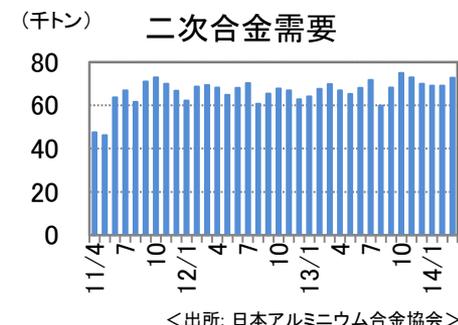
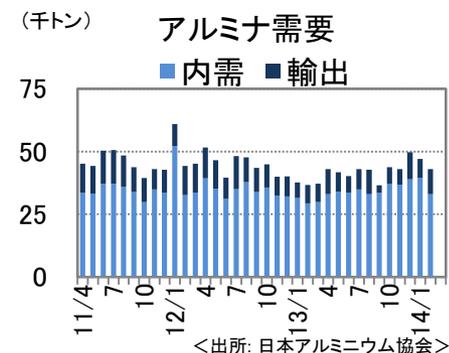


## アルミナ・化成品

- アルミナ関連では、輸出で競争激化が続くが、内需は堅調
- 高付加価値品増販、価格改定、コストダウンなどにより収益改善

## 日軽エムシーアルミ

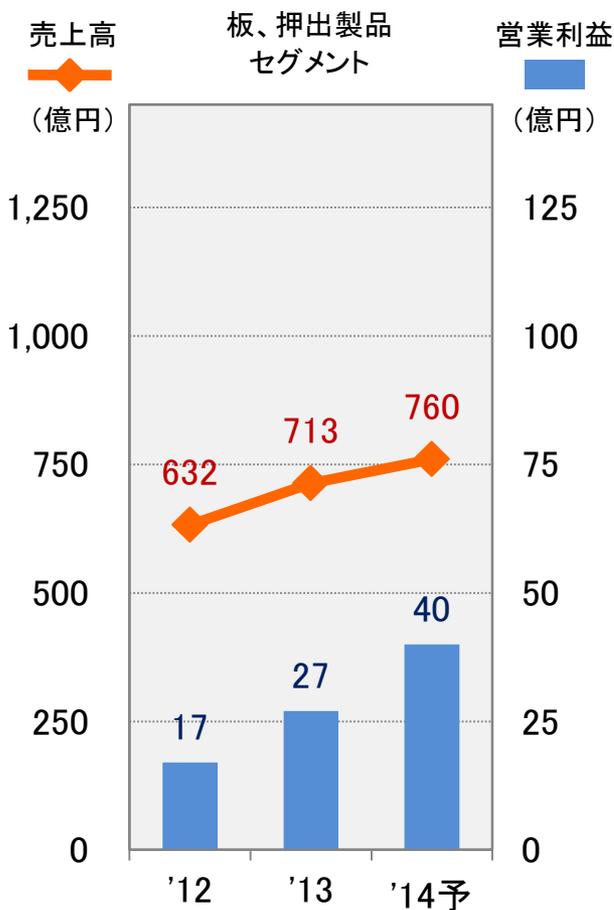
- 中国を中心に、海外市場は堅調な推移を見込む
- 国内販売は消費税率上昇後の反動などにより微減



日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	66.4	69.6	△5%	68.6	70.4	△3%	135.0	140.0	△4%
海外	57.5	49.9	+15%	56.9	51.6	+10%	114.4	101.5	+13%
合計	123.9	119.5	+4%	125.5	122.0	+3%	249.4	241.5	+3%

# 板、押出製品



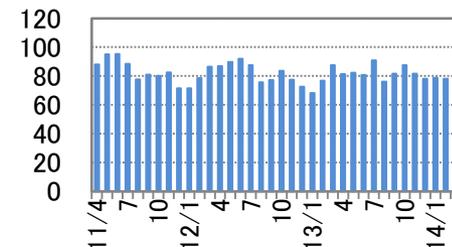
## 板

- 半導体・液晶装置向け厚板、電機・電子、建材・一般材向けが増加
- 新規製品、加工製品の拡販
- ニッケイサイアム、華峰日軽で増販

板事業部販売量 (千トン)

	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		36.9	36.0	+2%	40.8	41.1	△1%	77.7	77.1

(千トン) 板製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

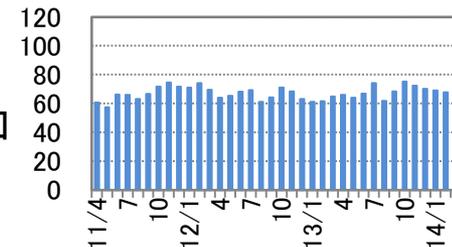
## 日軽金アクト

- 輸送関連ではトラック向けが好調
- 電機・電子、建材・一般材向け等増加
- 中国での自動車部品加工が好調

日軽金アクト販売量 (千トン)

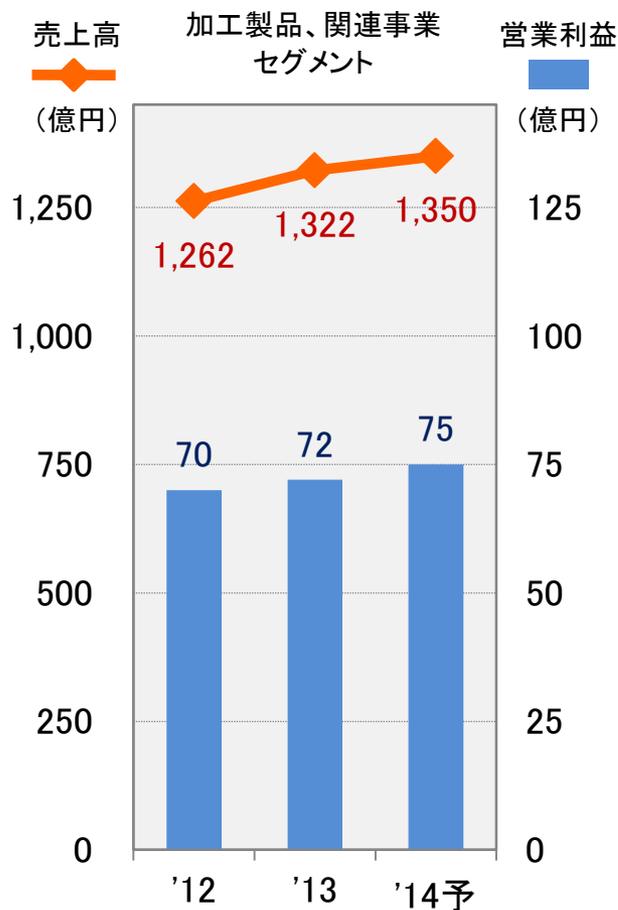
	14年度 上期			14年度 下期			14年度 合計		
	予想	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		19.5	19.0	+3%	20.5	20.3	+1%	40.0	39.3

(千トン) 押出製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

# 加工製品、関連事業



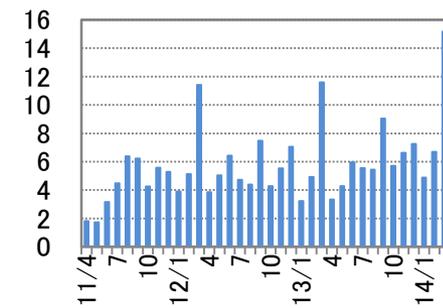
## 日本フルハーフ

- 好景気や03年からの排ガス規制時購入車両の買換需要が見込まれ、トラック需要は引き続き好調
- アフターサービス事業拡大
- 中国でのトレーラー拡販
- タイで現地架装メーカーに資本参加、子会社化を決定

## 日軽パネルシステム

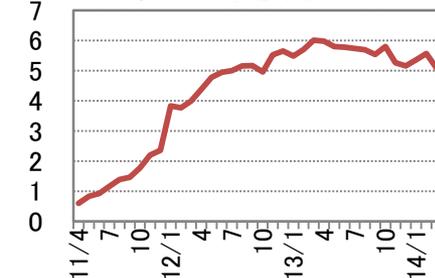
- 冷凍・冷蔵分野の好調続く (コンビニ・スーパー、食品工場、低温流通設備向け断熱パネル)
- 内装分野では、バイオクリーンルーム、データセンター、植物工場など新しい需要開拓や耐震事業など新事業の拡充強化を図る

(千台) 普通トラック登録台数



<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(%) コンビニ店舗数 (前年同月比伸び率)

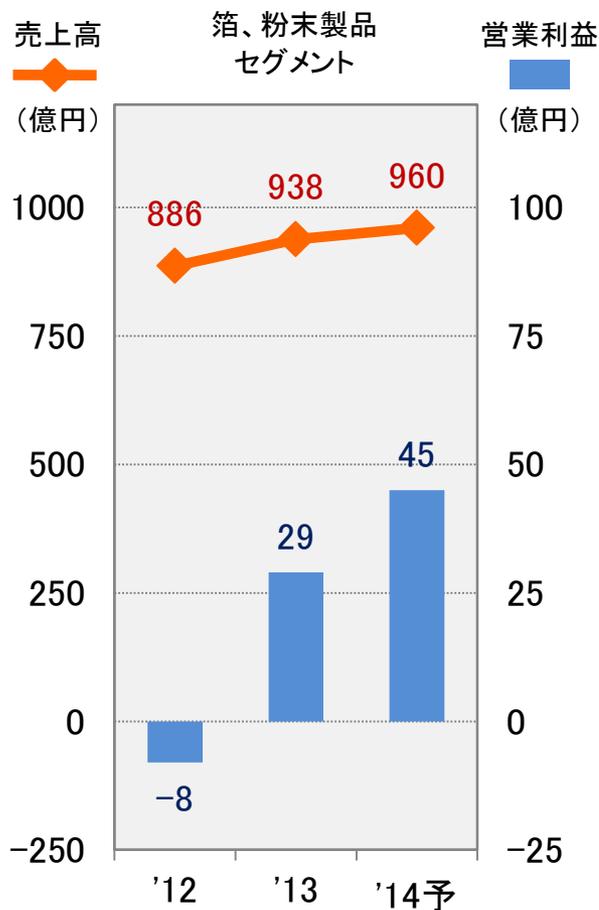


<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

# 箔、粉末製品



## 東洋アルミニウム



### <箔事業>

#### ■ コンデンサ箔

- ・ 貫通孔箔や粉末積層箔などの新規製品拡販を図る

#### ■ 普通箔

- ・ 医薬品向け加工箔、食品向け撥水性加工箔やLiB外装用箔を拡販

### <パウダー・ペースト事業>

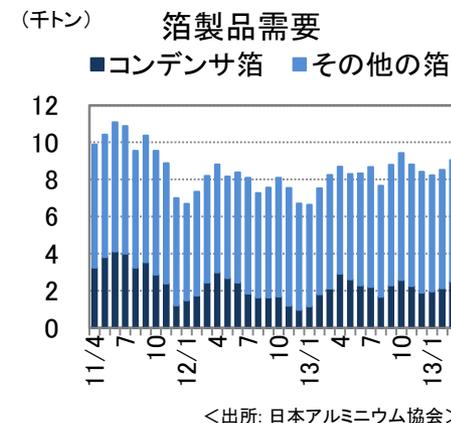
- 海外市場で高輝度ペーストや着色ペーストが伸張

- アジア市場で化粧品用を拡販

### <ソーラー事業>

- 太陽光発電市場では中国、日本が引き続き需要を牽引

- 生産販売の中国移管完了。一層のコストダウンを図る



## セグメント情報 - 前期比



(億円)

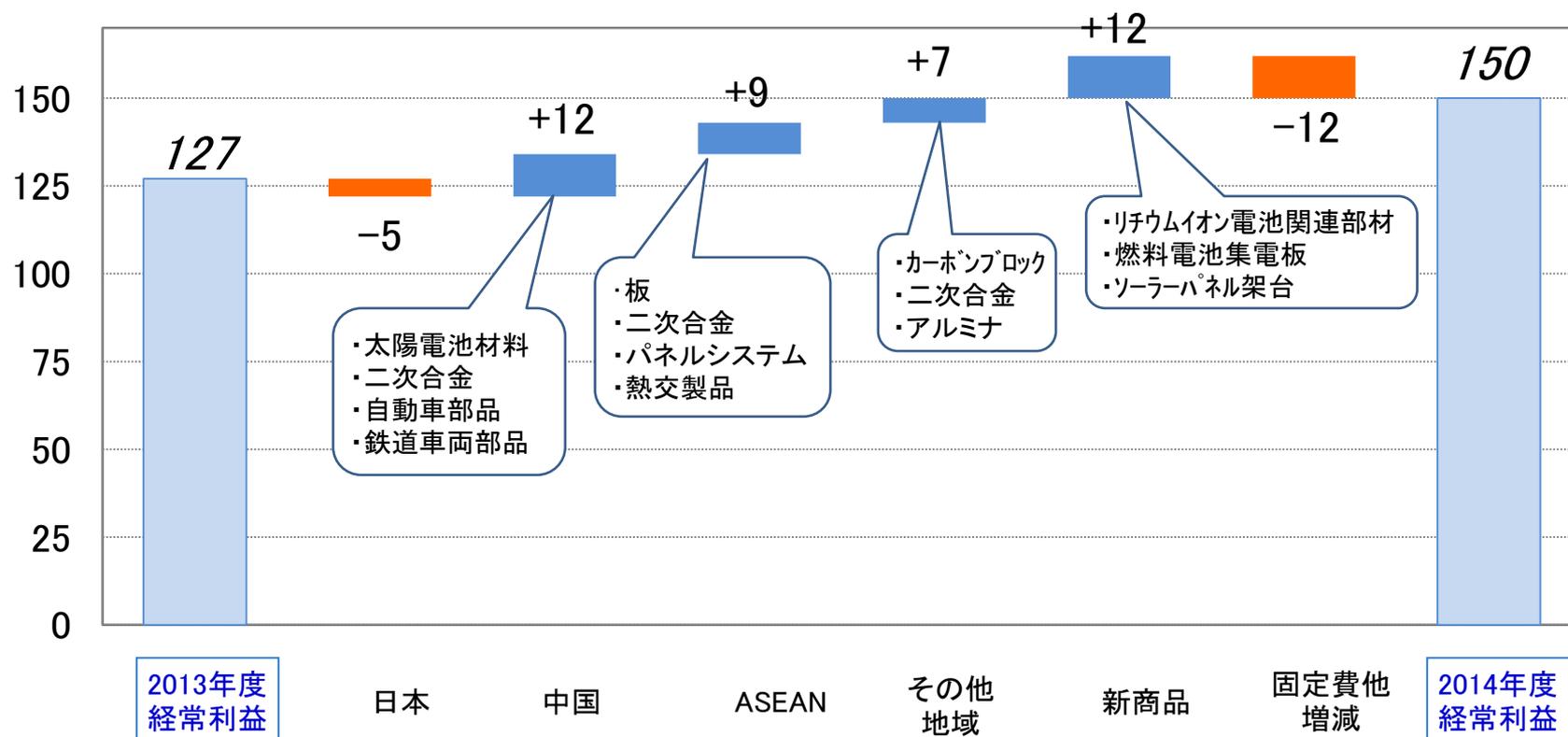
	売上高			営業利益		
	2014年度 予想	2013年度 実績	増減	2014年度 予想	2013年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,030	1,055	△25 (△2.4%)	40	29	+11 (+37.1%)
板、押出製品	760	713	+47 (+6.6%)	40	27	+13 (+49.9%)
加工製品、 関連事業	1,350	1,322	+28 (+2.1%)	75	72	+3 (+3.8%)
箔、粉末製品	960	938	+22 (+2.3%)	45	29	+16 (+55.8%)
管理・共通	—	—	—	△30	△31	+1
合 計	4,100	4,028	+72 (+1.8%)	170	126	+44 (+34.7%)

# 経常利益変化要因 - 前期比



2013年度 +127億円 ⇒ 2014年度 +150億円 23億円増加

(億円)



# アルミにこだわり、 アルミを超えていく



## 本資料についての注意事項

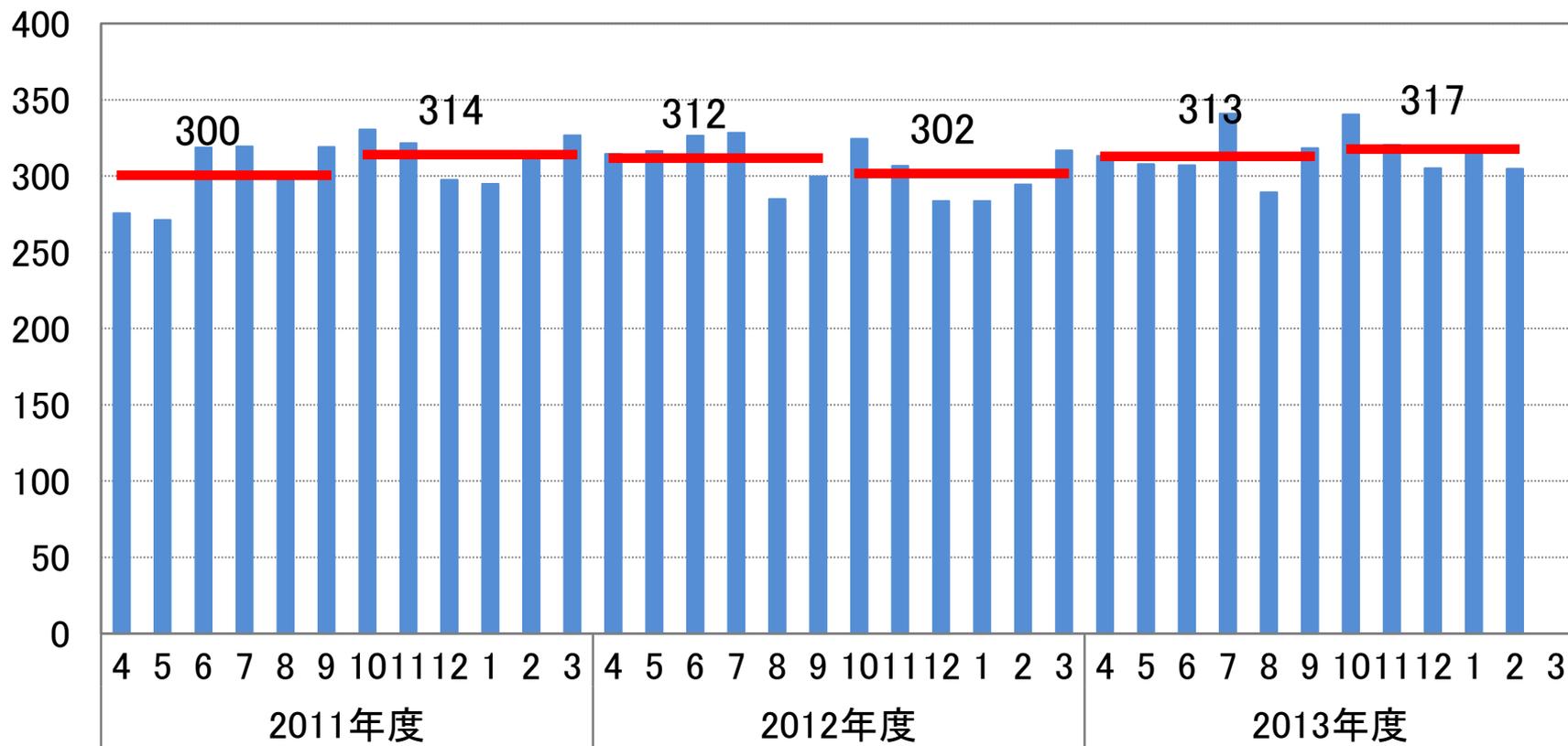
1. 本資料は2015年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

## 補足資料

# 国内アルミ製品総需要の推移



(千トン)



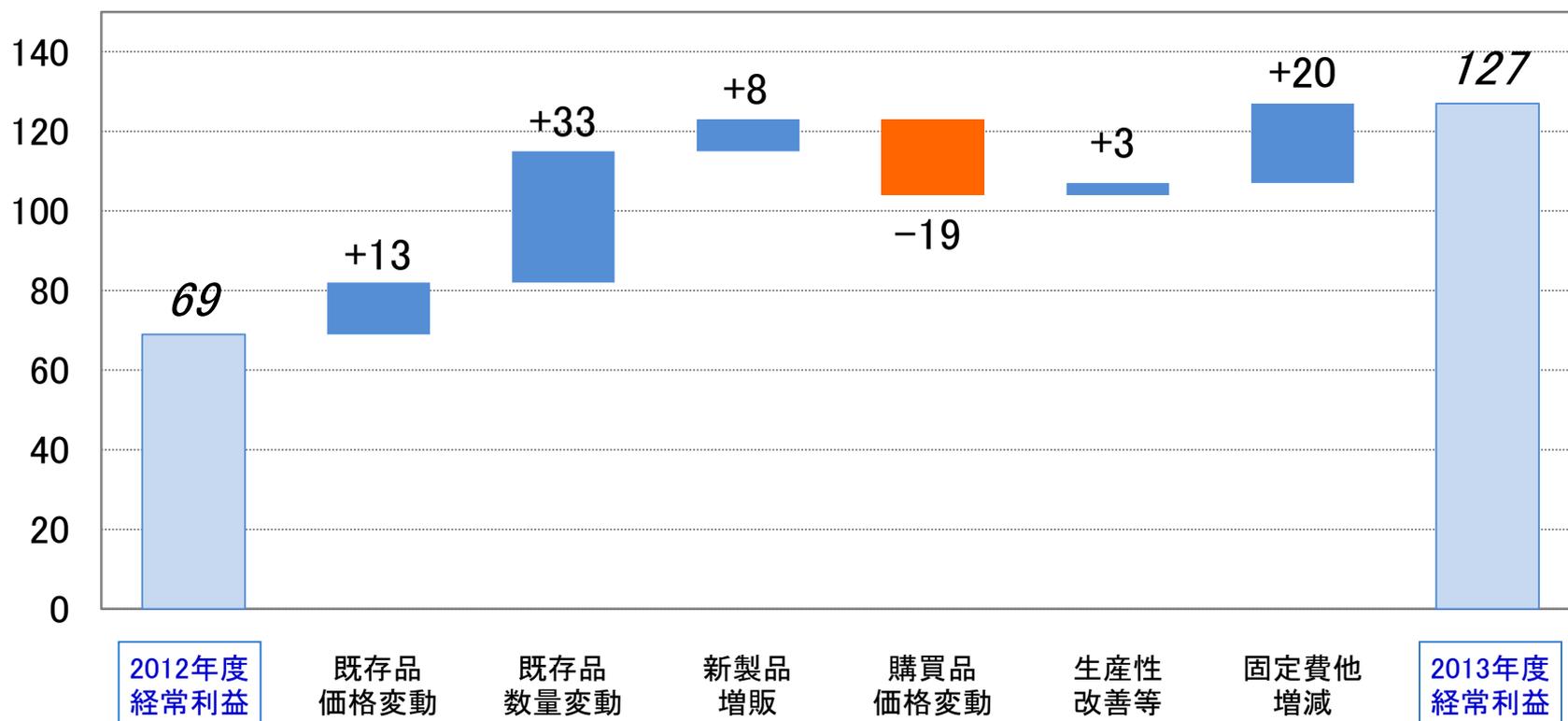
<出所:日本アルミニウム協会>

# 経常利益変化要因 - 前期比



2012年度 +69億円 ⇒ 2013年度 +127億円 58億円増加

(億円)



## 2013年度決算 一期初予想比



(億円)

	2013年度 実績	2013年度 期初予想	増減
売上高	4,028	3,900	+128 (+3.3%)
営業利益	126	145	△19 (△13.0%)
経常利益	127	120	+7 (+6.1%)
当期純利益	51	65	△14 (△21.1%)
有利子負債	1,987	1,850	+137
ネットDEレシオ	1.4倍	1.4倍	—
R O C E	5.8%	5.6%	+0.2p

## セグメント情報 — 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2013年度 実績	2013年度 期初予想	増減	2013年度 実績	2013年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,055	950	+105 (+11.0%)	29	45	△16 (△35.2%)
板、押出製品	713	680	+33 (+4.8%)	27	30	△3 (△11.1%)
加工製品、 関連事業	1,322	1,330	△8 (△0.6%)	72	75	△3 (△3.7%)
箔、粉末製品	938	940	△2 (△0.2%)	29	25	+4 (+15.6)
管理・共通	—	—	—	△31	△30	△1
合 計	4,028	3,900	+128 (+3.3%)	126	145	△19 (△13.0%)

## 主要会社の業績 — 期初予想比



(億円)

	2013年度 実績			2013年度 期初予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,236	△36	△13	1,226	3	21
東洋アルミニウム (連結)	943	28	27	956	25	22
日軽エムシーアルミ (連結)	533	15	12	469	8	6
日本フルハーフ (連結)	533	25	25	510	26	26
日軽金アクト	350	15	16	341	18	18

# 経常利益



(億円)

	2013年度 実績	2012年度 実績	前年同期比	2013年度 期初予想	期初予想比
経常利益	127	69	+58	120	+7

(億円)

前期比 +58億円 の内訳	
営業利益の増加	+44
持分法損益の改善	+11
受取配当金の増加	+5
支払利息の減少	+2
その他	△4

(億円)

期初予想比 +7億円 の内訳	
営業利益の減少	△19
持分法損益の改善	+11
為替差益の増加	+7
受取配当金の増加	+3
その他	+5

## 当期利益



(億円)

	2013年度 実績	2012年度 実績	前年同期比	2013年度 期初予想	期初予想比
当期利益	51	34	+17	65	△14

(億円)

前期比 +17億円 の内訳	
経常利益の増加	+58
特別利益の減少	△63
特別損失の減少	+14
税金費用の減少	+11
少数株主利益の増加	△3

(億円)

期初予想比 △14億円 の内訳	
経常利益の増加	+7
特別損失の計上	△23
税金費用の減少	+6
少数株主利益の増加	△4

# キャッシュ・フロー計算書



(単位: 億円)

## 2013年度

<源泉>

<使途>

<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b> 181 税引前当期純利益 104 減価償却費 164 運転資金 △8 法人税他 △33 その他 △46	<b>設備投資等</b> 190 有形固定資産 140 華峰アルミ出資 37 他
<b>資金調達</b> 365 社債発行 150 長期借入 215	<b>社債償還、借入返済</b> 279 約定弁済 240 他
	<b>現金・同等物の増加</b> 56

配当金支払い 21

## 2012年度

<源泉>

<使途>

<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b> 180 税引前当期純利益 69 減価償却費 163 法人税他 △52	<b>設備投資等</b> 140
<b>長期借入金</b> 244	<b>社債償還、借入返済</b> 275 社債償還 11 約定弁済等 264

現金・同等物の減少 5

配当金支払い 14

## 設備投資・減価償却費 — 前期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2013年度 実績	2012年度 実績	差異	2013年度 実績	2012年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	31	40	△9	42	38	+4
板、押出製品	42	46	△4	40	39	+1
加工製品、関連事業	35	32	+3	34	33	+1
箔、粉末製品	32	53	△21	48	53	△5
合計	140	171	△31	164	163	+1

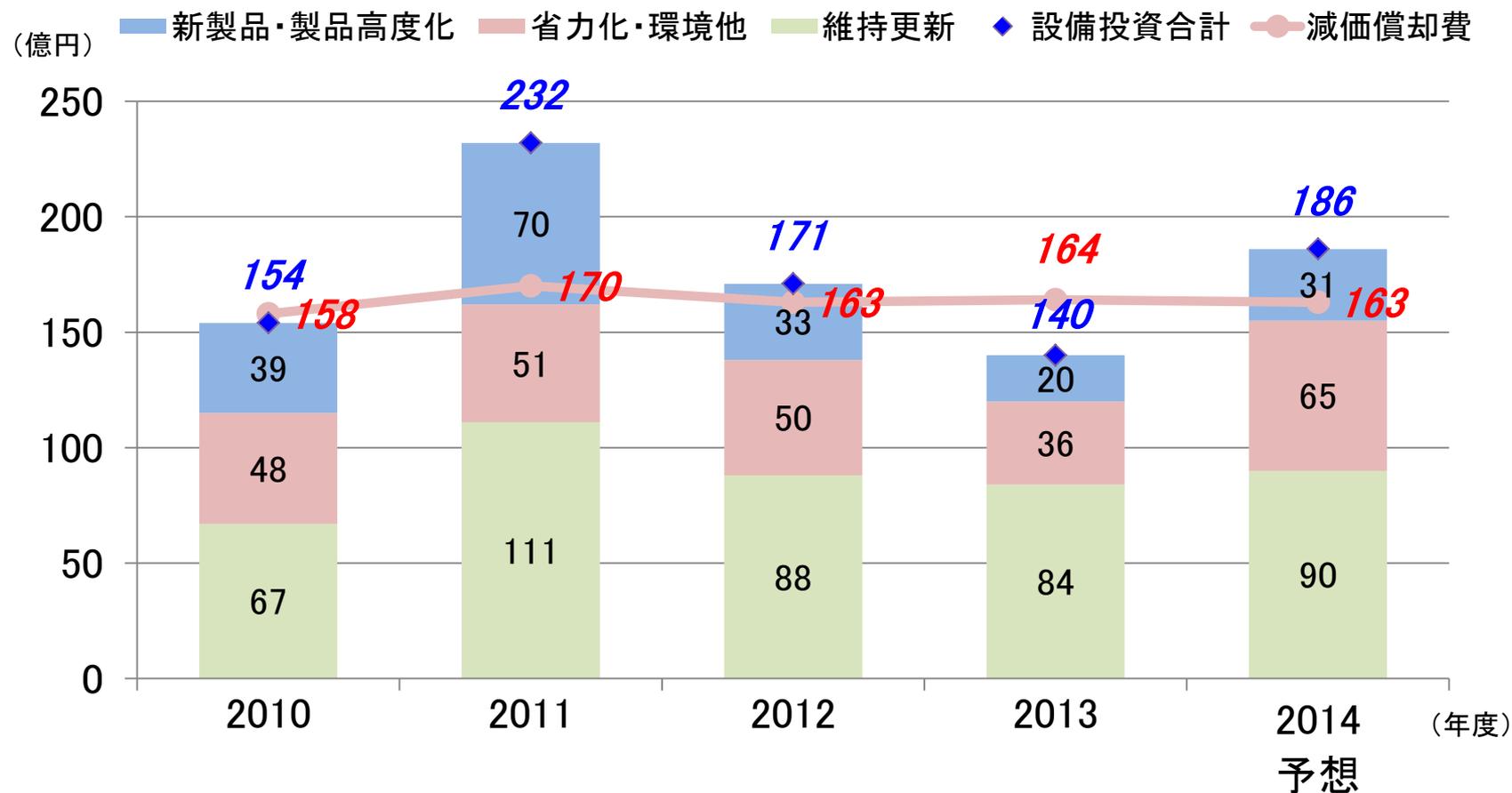
## 設備投資・減価償却費 — 期初予想比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2013年度 実績	2013年度 期初予想	差異	2013年度 実績	2013年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、地金	31	43	△12	42	40	+2
板、押出製品	42	43	△1	40	34	+6
加工製品、関連事業	35	42	△7	34	35	△1
箔、粉末製品	32	46	△14	48	56	△8
合計	140	174	△34	164	165	△1

# 設備投資および減価償却費



## 設備投資・減価償却費 — 前期比



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2014年度 予想	2013年度 実績	増減	2014年度 予想	2013年度 実績	増減
アルミナ・化成品、地金	47	31	+16	43	42	+1
板、押出製品	44	42	+2	35	40	△5
加工製品、関連事業	51	35	+16	35	34	+1
箔、粉末製品	44	32	+12	50	48	+2
合計	186	140	+46	163	164	△1

## 主要会社の業績予想 - 前期比



(億円)

	2014年度 予想			2013年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,234	△10	0	1,236	△36	△13
東洋アルミニウム (連結)	964	43	41	943	28	27
日軽エムシーアルミ (連結)	548	13	10	533	15	12
日本フルハーフ (連結)	540	27	27	533	25	25
日軽金アクト	393	20	22	350	15	16

# 経常利益変化要因 — 期初計画比



2013年度 +127億円 ⇒ 2014年度 +150億円 23億円増加

(億円)

